

電気通信大学 平成16年度シラバス

授業科目名	地学実験		
英文授業科目名	Geographical Laboratory		
開講年度	2004年度	開講年次	3年次
開講学期	5学期	開講コース・課程	昼間・夜間主コース
授業の方法		単位数	2
科目区分	専門科目-専門共通科目-自由科目		
開講学科・専攻	電子工学科 量子・物質工学科		
担当教官名	酒井 彰（学内連絡教官 和田 節子）		
居室	独立行政法人産業技術総合研究所成果普及部門地質標本館		

公開E-Mail	授業関連Webページ
sakai.a@aist.go.jp	

【主題および達成目標】
教職課程の科目「理科」に関する専門教育科目としての「地学実験」であることから、学習指導要領に則した、地学的事象・現象についての基礎的な観察や実験の技能を修得することを目標とする。

【前もって履修しておくべき科目】
地学第二（2学期で履修）

【前もって履修しておくことが望ましい科目】

【教科書等】
<p>必要なものはプリントとして配布する。参考書としては築地書館の日曜の地学シリーズ「 の自然をたずねて」やコロナ社から刊行されている地学のガイドシリーズ「 県地学のガイド」は、初心者向きに書かれた現場向きのガイドブックであるので、該当するものがあれば利用を薦める。</p> <p>より専門的な知識の整理が必要になった場合には、日本の地質 全13巻（共立出版）、地学事典（平凡社）地学辞典（古今書院）が最適。</p>

電気通信大学 平成16年度シラバス

【授業内容とその進め方】

受講者の人数にかかわらず、野外実習（巡検という）を主とし、休日等を利用し4?5回程度実施する。野外実習の内容は地層の見方と記載の方法、岩石観察と鉱物の産状、第四紀地形地質と環境を主要なテーマとし、毎回異なった内容のものを実習する。巡検の実施日等は、ガイダンス当日にあらかじめ調整を行い、決定次第、掲示によって伝達する。また、受講者数の状況によっては、可能な範囲において室内における実験実習を取入れることを予定している。

【成績評価方法及び評価基準(最低達成基準を含む)】

レポートによる評価を行う。レポートは体験を重視し、観察結果とその解釈について、科学的考察の優れたものを評価する。

【オフィスアワー：授業相談】

必須項目。
特に設けない。質問等は電子メールで受け付ける。

【学生へのメッセージ】

地学実験履修の方法に関しては、開講日に実験に関する注意事項や、実施月日の調整などを含む、重要事項についてガイダンスを行うので必ず出席のこと。

【その他】